

付属資料

資料 1-1 各種調査結果

(1) 住民アンケート調査

① 目的

住民の日頃の交通行動や公共交通に対する要望・課題を把握するため、管内に居住する2,300世帯を対象として、郵送によるアンケート調査を実施した。

② 実施概要

実施の概要は下表のとおりである。

表 1-1 住民アンケート調査の実施概要

調査対象	留萌管内に居住する世帯
調査期間	2022(令和4)年9月1日(木)～9月18日(日)
配布数	2,300票(内、宛先不明による返送13票)
回収数(回収率)	980票(回収率42.9%) うちWeb調査は107票 1,917人の方が回答(1票当たり1.96人) うちWeb調査は208人
配布・回収方法	郵送配布・郵送もしくはWeb回答による回収

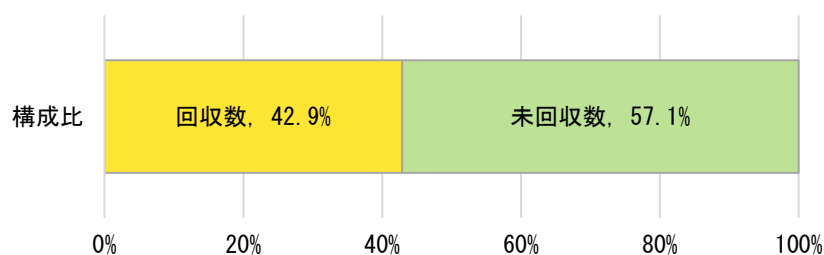


図 1-1 回収の状況

③ 結果の概要

質問	結果概要
基本属性	
Q1.居住地域	・「留萌市」が4割
Q2.最寄りのバス停は歩いて行こうと思う場所にあるか	・「ある」が8割強
Q3-1.世帯人数	・「2人」が4割強、「1人」が2割
Q3-2.世帯の年齢構成	・「40歳以上」が7割
Q3-3.運転が困難な方の有無	・「いる」が3割
Q4.回答者の年齢	・「50歳以上」が7割
Q5.回答者の性別	・「男」「女」がほぼ半分ずつ
Q6.回答者の運転免許の所持状況	・「持っている」が7割強
移動の状況	
Q7.普段運転できる車を持っているか	・「持っている」が9割
Q8-1.自家用車を利用する一番の理由	・「いつでも利用できるから」が8割強
Q8-2-1.何歳まで運転したいか	・75～84歳が6割弱

質問	結果概要
移動の状況	
Q8-2-2.運転が困難になった場合の移動手段	・「バス等の利用」が 5 割
Q8-3.運転に不安を持つときがあるか	・「冬や長距離運転に不安がある」が 5 割
Q8-4.運転について、不安な内容	・「冬の運転が不安」が 5 割弱
Q8-5.事故を回避できる自信があるか	・「自信がある」が 4 割
Q8-6.免許返納の特典等があれば返納しやすくなるか	・「返納しやすくなる」、「少し返納しやすくなる」がそれぞれ 3 割弱
Q9.自分以外が運転する自家用車での移動状況	・「車を使用できない」が 1 割強
Q10.固定電話、携帯電話、スマートフォンの所持状況	・「スマートフォンを保有」が 5 割強
日常的な外出について	
Q11.公共交通の利用	・「特急はぼろ号」、「高速るもい号」が「年に数回の利用」がある
Q12-1-1.主な外出の目的	・「通勤」が約 5 割
Q12-1-2.曜日別の主な外出の目的	・曜日に関わらず多様な目的が見られる
Q12-1-3.平日、休日別の主な外出の目的	・平日は「通勤」、「通学」、休日は「観光」、「レジャー」
Q12-1-4.主な目的別の外出日数	・「買物」、「通院」は週に 1.4 日程度
Q12-2-1.家を出た時間、帰宅した時間	・出発は「8 時」が多く、帰宅は「18 時」が多い
Q12-2-2.平日、休日別家を出た時間、帰宅した時間	・出発時刻は「8 時」、帰宅は「18 時」が多いが、平日の方が家を出ている人数が多い
Q12-3.平日、休日別の外出時の行先	・「留萌市」が多い
Q12-4-1.行きに利用した交通手段	・「自家用車」が多くを占める
Q12-5-1.帰りに利用した交通手段	
Q12-6.バスより少し高い運賃で、自宅と目的地を直接結ぶ公共交通が運行する場合、変えても良い曜日はあるか	・自家用車から公共交通への転換が 228 回
Q12-7.公共・公益施設の行先	・「留萌市立病院」、「留萌高等学校」、「マックスバリュ留萌店」が多い
Q12-8.大きな施設に行く場合の行先	・「留萌市立病院」、「マックスバリュ留萌店」が多い
今後の公共交通への要望等	
Q13.自家用車に頼らないとき、公共交通はどうあってほしいか	・「バスとタクシーの中間」が 3 割強
Q14-1.感染症拡大前と比べた公共交通の利用頻度	・「変わらない」が 4 割、「減った」が 2 割強
Q14-2.外出そのものが減ったか、公共交通以外の移動手段に変わったか	・「外出自体が減った」が 8 割
Q14-3.感染症流行が終息した後、公共交通利用促進のための有効な方策	・「対策なし」、「格安での利用」、「少人数による輸送」が比較的多い
Q15-1.路線バスの利用状況について	・「現在利用していないが今後は利用する」、「今後も利用しない」がそれぞれ 3 割

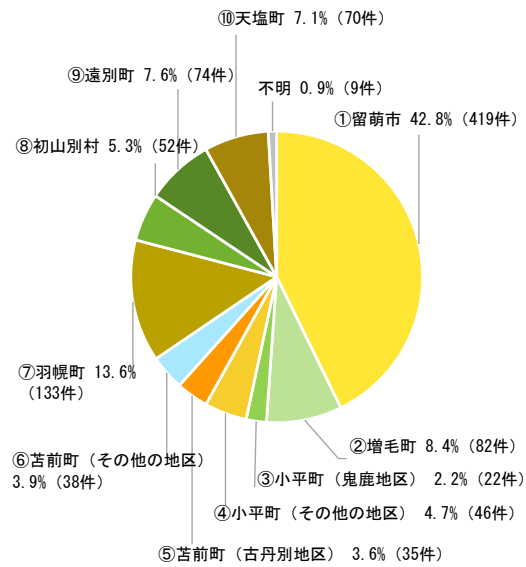
質問	結果概要
今後の公共交通への要望等	
Q15-2.路線バスの満足度について	・「始発時刻」、「運賃」、「乗り降りのしやすさ」は満足が多い ・「便数」、「待合環境」は不満が多い
Q15-3.電話予約型公共交通は利用するか	・「利用すると思う」が3割強
Q15-4.既に利用している場合、どの程度利用しているか	・「週に1,2回」、「月に数回程度」がそれぞれ3割
Q15-5.予約型公共交通が近隣市町村まで運行した場合、運賃が〇円高くなっても利用するか	・「200円高くなっても利用する」が8割、 「400円高くなっても利用する」が4割
Q15-6.公共交通を維持するための方針について	・「税金による補填」や「長大路線の分割」についての理解度が高い
Q16-1.月3,000円、月6,000円の公共交通があった場合、利用するか	・「月3,000円であれば利用する」が3割
Q16-2.沿岸バスを利用する際の支払い方法	・「現金」が3割
Q16-3.10日程度の往復運賃で1か月を通して利用できるバスがあった場合、利用するか	・「利用する」が2割強
Q16-4.パークアンドバスライドで温泉や食事の割引も受けられる場合、利用するか	・「利用する」が3割
Q16-5.バス運転手として就業を考える場合、バス会社が行うべき支援策	・「大型二種免許の取得補助」、「短時間勤務など勤務体験の運用」が比較的多い
Q16-6.公共交通にあると便利なサービス	・「割引サービス」、「乗り継ぎしやすさ」、「休憩待合室」が比較的多い

④ 調査結果

1) 基本属性

Q1. 居住地域

回答者の居住地域は、「①留萌市」が 42.8%と最も多く、続いて「⑦羽幌町」が 13.6%、「②増毛町」が 8.4%となっている。



全世帯(n=980)に対する回答

図 1-2 Q1.居住地区

Q2. 最寄りのバス停の徒歩アクセス性

最寄りのバス停は、「①歩いて行こうと思う所にある」が 84.9%と最も多く、「②ない」は 10.0%となっている。

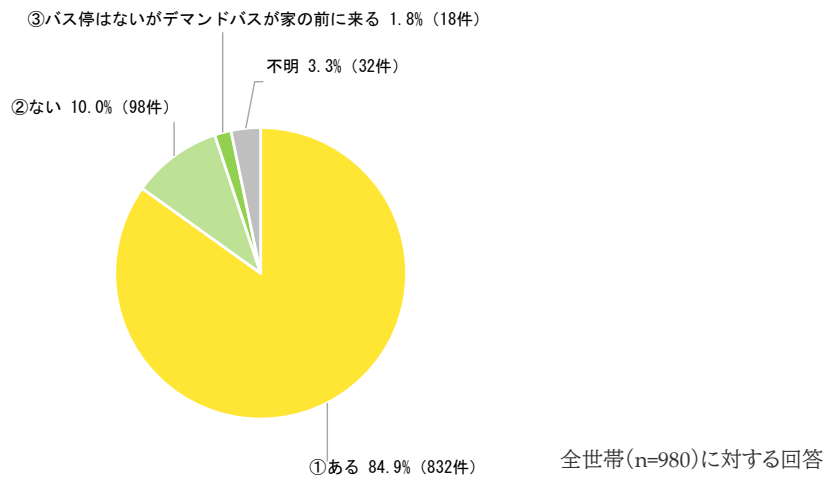


図 1-3 Q2.最寄りのバス停は歩いて行こうと思う所にあるか

【居住地域別】

地域別に見ると小平町(その他地区)において「デマンドが家の前に来る」と回答した割合が比較的高くなっている。



図 1-4 Q2.最寄りのバス停は歩いて行こうと思う所にあるか(Q1.居住地域別)

Q3. ご家族全員の人数と年齢構成別の人数等

世帯人数は「2人」が45.6%と最も多い。世帯の年齢構成は「40～64歳」が32.4%と最も多く、続いて「65～74歳」が20.5%、「75歳以上」が19.5%となっている。「65歳以上」が占める割合は、40.0%である。

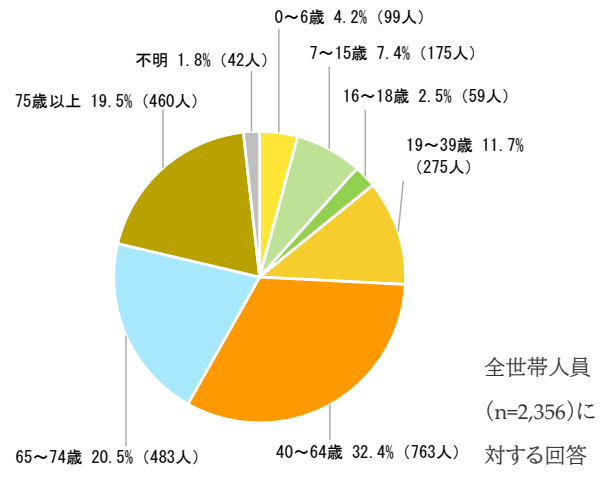
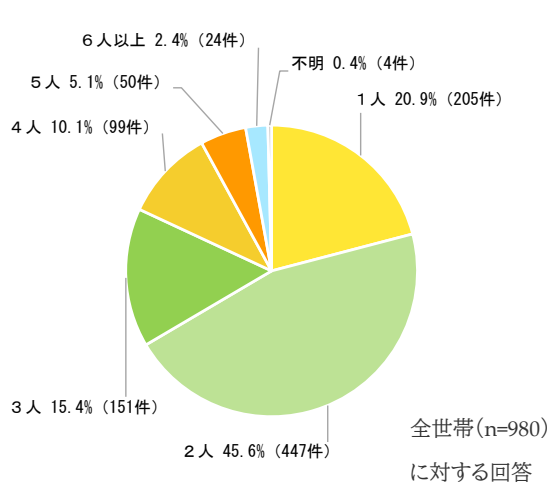


図 1-5 Q3-1.世帯人数

図 1-6 Q3-2.世帯の年齢構成

【年齢構成別】

世帯人数ごとの年齢構成を見ると、「1人世帯」、「2人世帯」では構成員が65歳以上の割合が高く、高齢者の単身、夫婦の世帯が多くを占める。

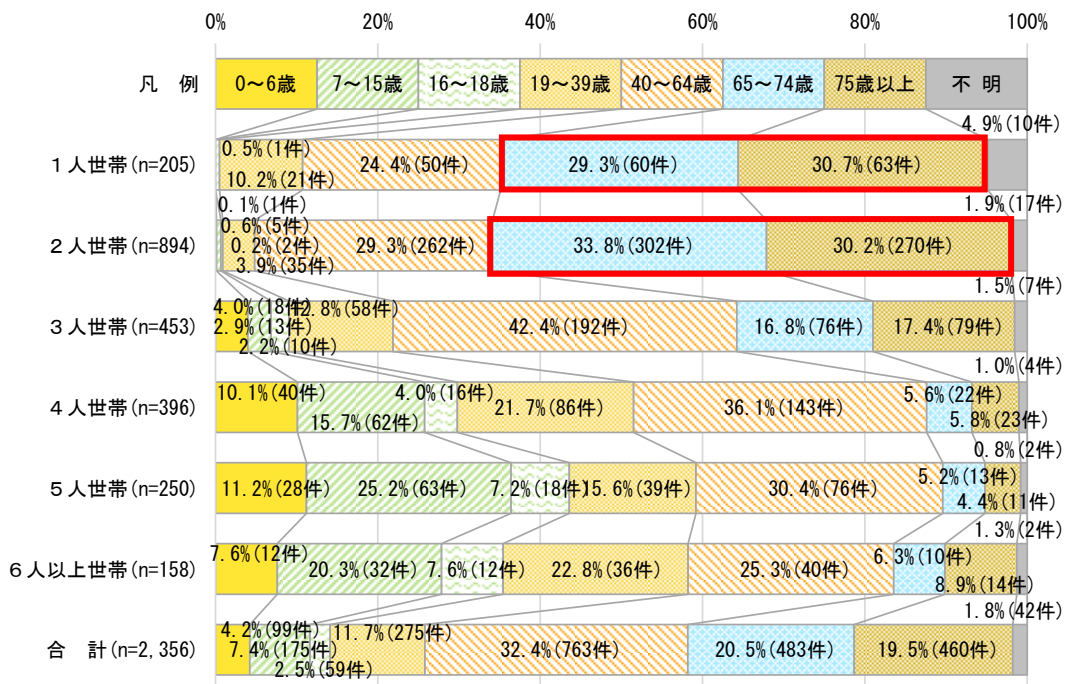


図 1-7 Q3-1.世帯人数(Q3-2.年齢構成別)

【世帯内の運転が困難な方の有無】

世帯内に運転が困難な方がいるかについては、「いる」と回答した割合が 27.8%となっている。

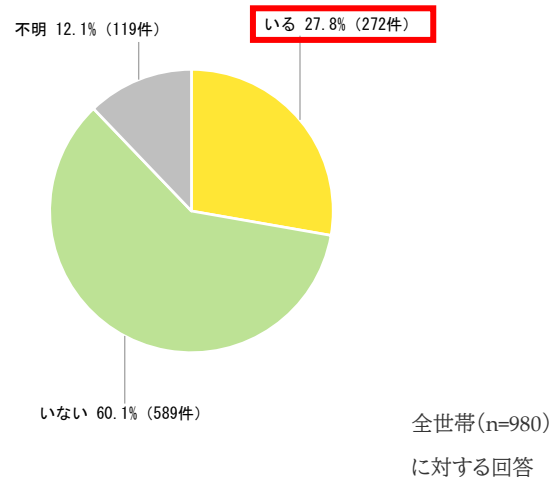


図 1-8 Q3-1.世帯内の運転が困難な方の有無

Q4. 年齢

回答者の年齢は、「⑤65～74歳」が23.7%と最も多く、続いて「④50～64歳」が23.6%、「③30～49歳」が20.3%で、50歳以上が約7割を占める。

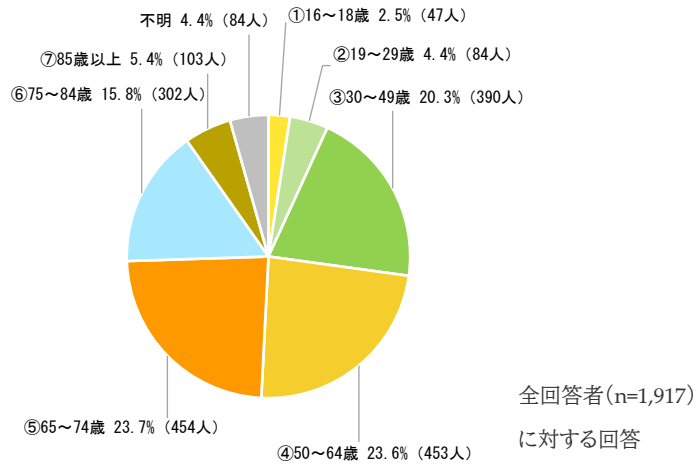


図 1-9 Q4.回答者の年齢

【居住地域別】

居住地域別に見ると、小平町は「49歳以下」の回答者が多い一方、初山別村は、「65歳以上」の回答者が多い。

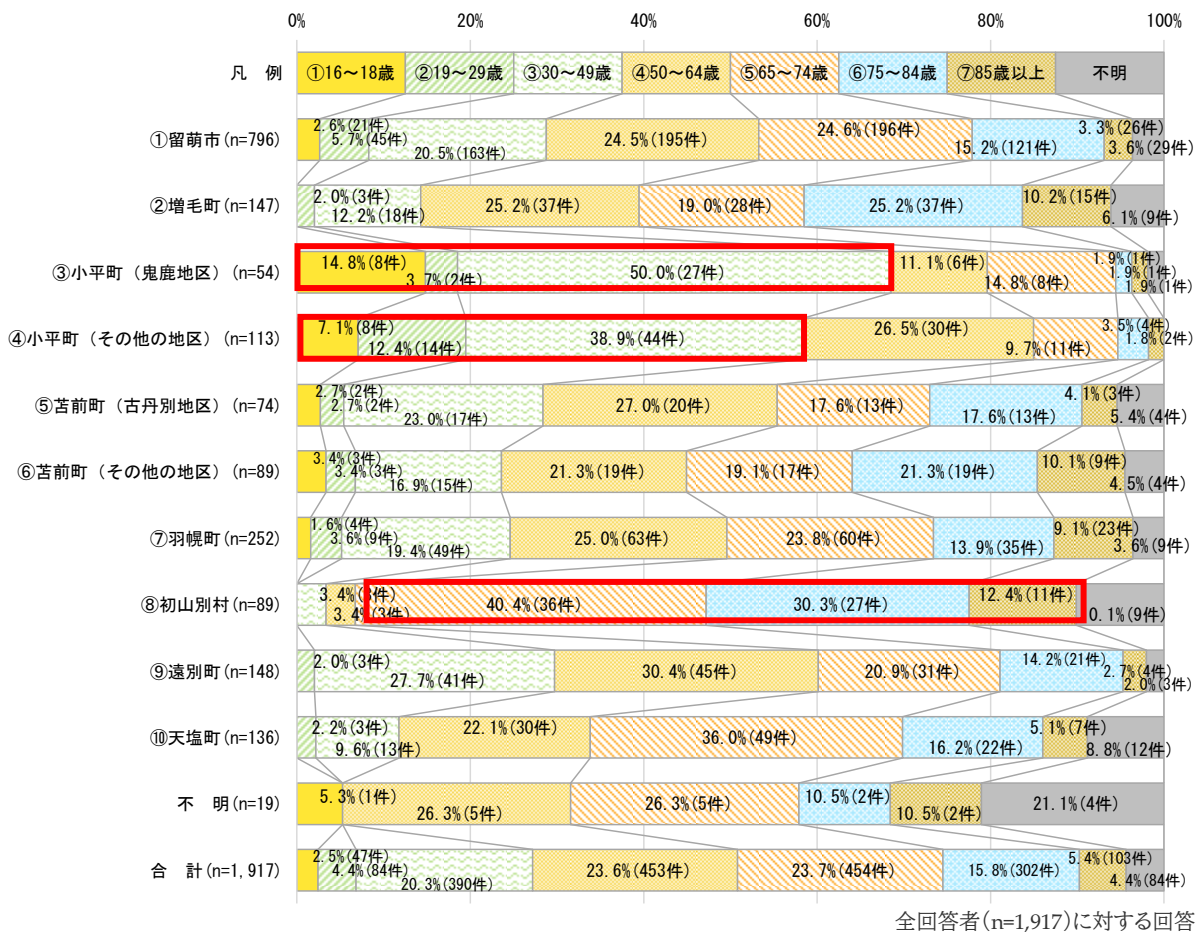


図 1-10 Q4.回答者の年齢別(Q1.居住地域別)

Q5. 性別

回答者の性別は、女性が50.7%、男性が46.9%となっている。

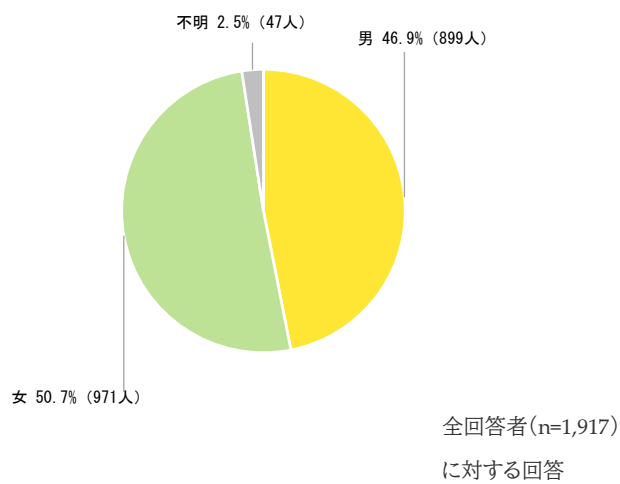


図 1-11 Q5.回答者の性別

Q6. 自動車運転免許証の所持
 運転免許の所持状況は、「①持っている」が75.4%、「②持っていない」が22.4%であった。

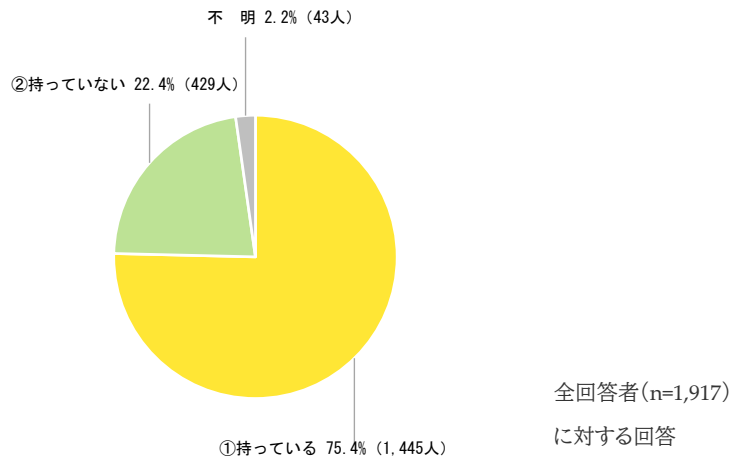


図 1-12 Q6.回答者の運転免許の所持状況

【年齢構成別】

年齢構成別に見ると、75歳以上では「②運転免許を持っていない」と回答した割合が多い。

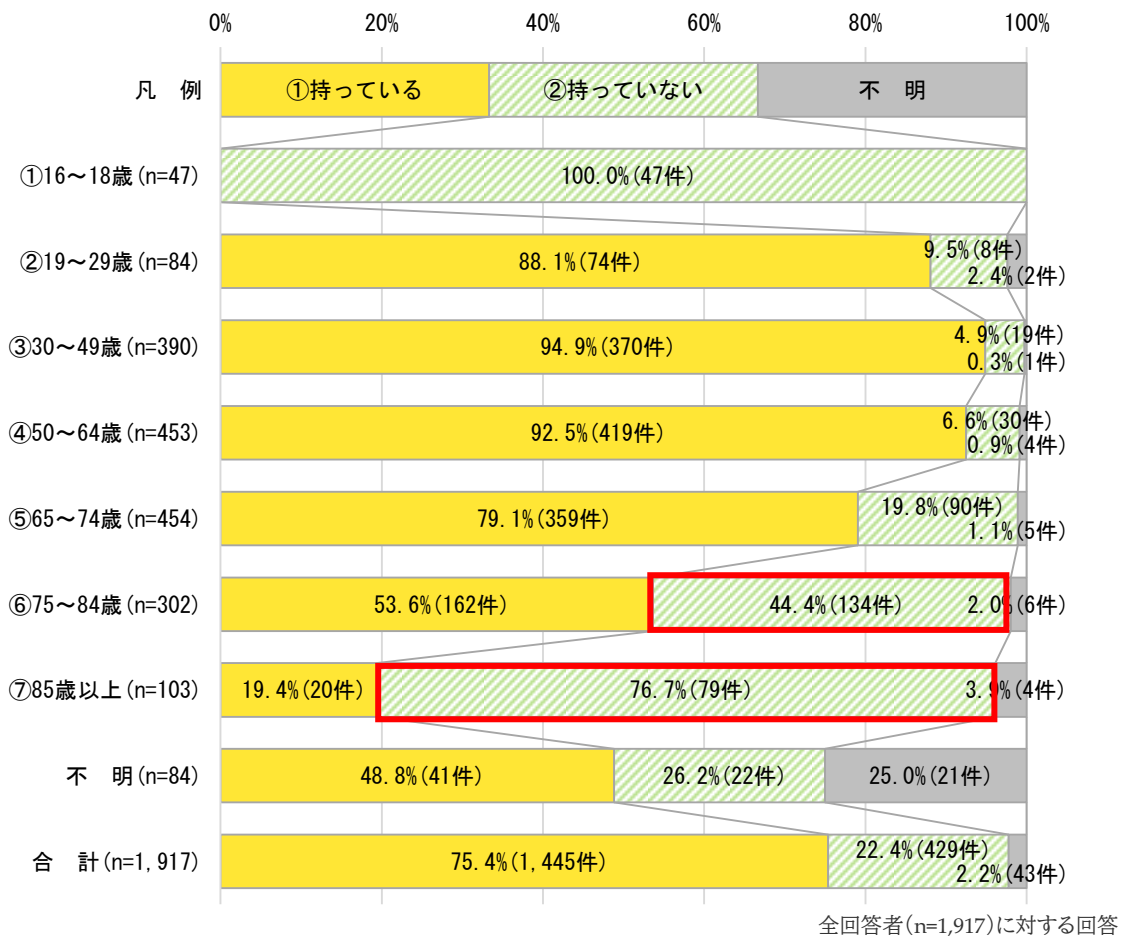


図 1-13 Q6.回答者の運転免許の所持状況(Q4.年齢構成別)

Q7. 普段運転できる車の有無

普段運転できる車については、「①持っている」と回答した割合が90.7%と最も多い。

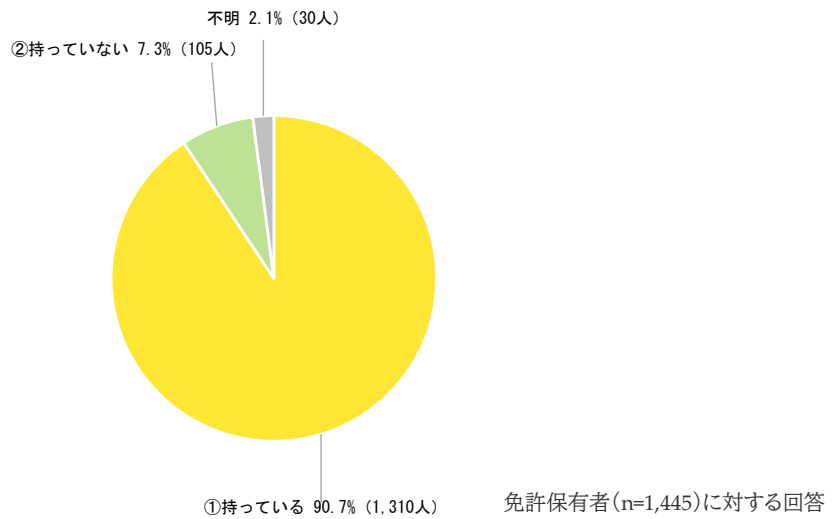


図 1-14 Q7.普段運転できる車を持っているか

【年齢構成別】

年齢構成別に見ると、「30歳以上」ではすべての世代で普段運転できる車を持っている割合が90%以上となっている。

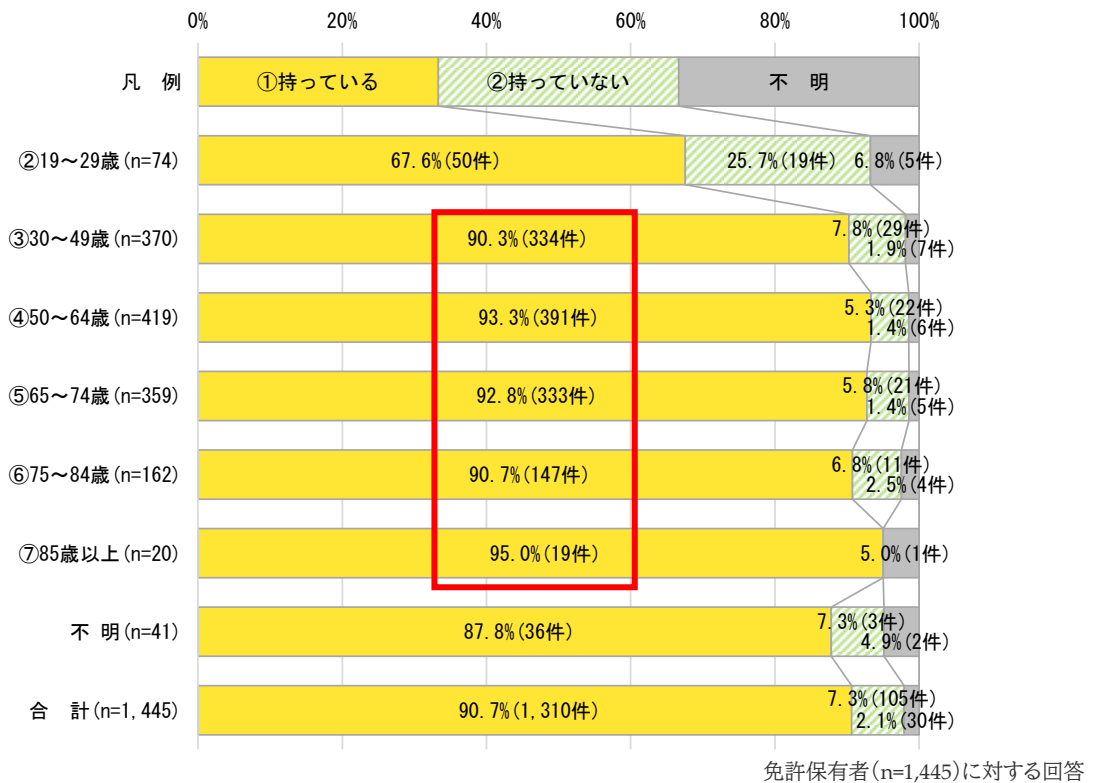


図 1-15 Q7.普段運転できる車を持っているか(Q4.年齢構成別)

Q8. Q7で「普段、運転できる車を持っている」と回答した方への質問

Q8-1. 自家用車を利用する一番の理由

自家用車を利用する理由は、「①いつでも利用できる」と回答した割合が多く84.1%となっている。他の理由としては「④荷物を気にせず移動できる」が5.0%、「③家族連れ等で乗車できる」が3.4%となっている。

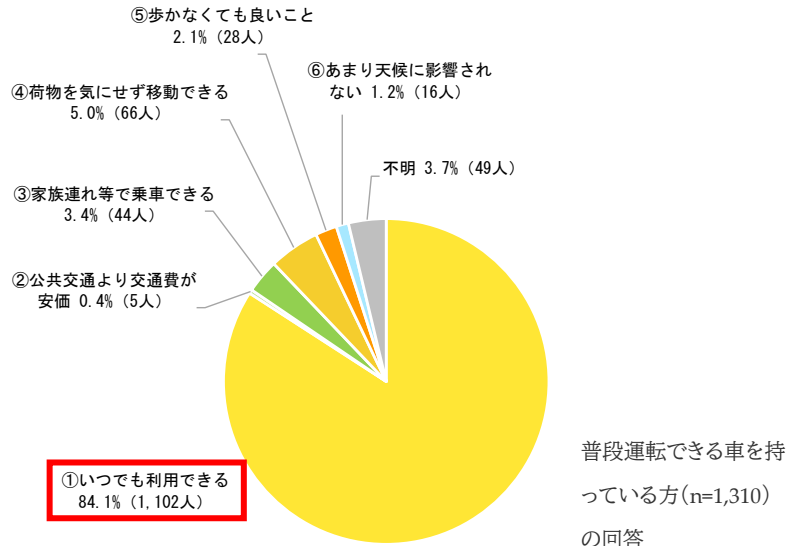


図 1-16 Q8-1.自家用車を利用する一番の理由(Q7 で普段運転できる車を持っている方)

【年齢構成別】

年齢構成別に見ても全世代で「①いつでも利用できる」が8割以上と多い。



図1-17 Q8-1.自家用車を利用する一番の理由(Q4.年齢構成別)

【年齢構成別(「いつでも利用できる以外の理由」)(Q8-1. 自家用車を利用する一番の理由)

「①いつでも利用できる」以外の理由を年齢構成別に見ると、「⑤65～74歳」の「④荷物を気にせず移動できる」、「②19～29歳」の「③家族連れ等で乗車できる」がやや多くなっている。

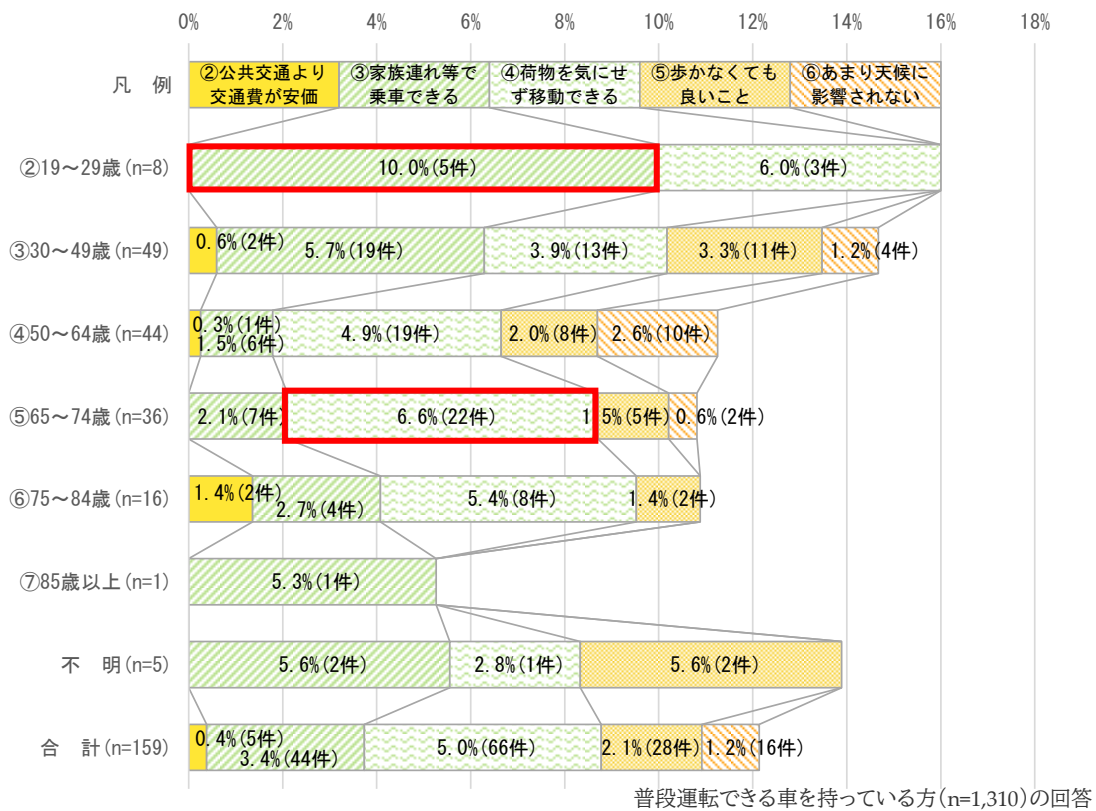


図 1-18 Q8-1.自家用車を利用する一番の理由
(①と回答した回答を除いた割合)(Q4.年齢構成別)

Q8-2-1. 車を運転する年齢(車の運転を取りやめる年齢)

何歳まで運転したいかについては、「③75～84歳」が57.5%と最も多く、続いて「②65～74歳」が23.4%、「④85歳以上」が12.1%となっている。

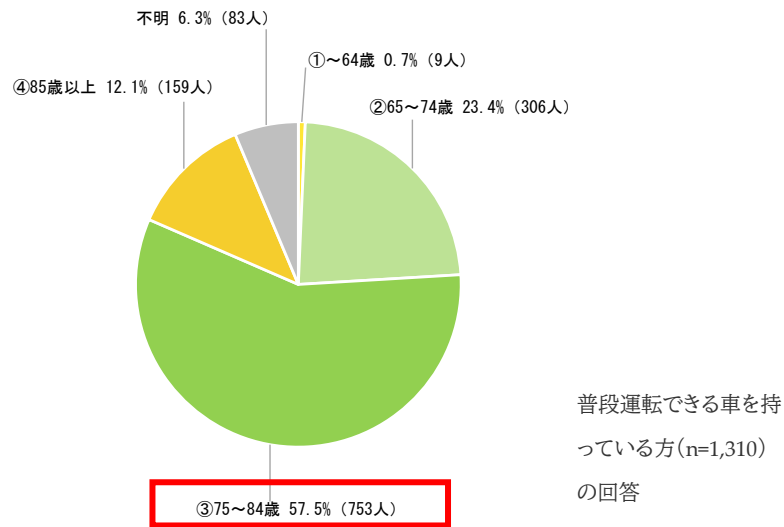


図 1-19 Q8-2-1.何歳まで運転したいか
(Q7 で普段運転できる車を持っている方のみ回答)

【年齢構成別】

年齢別に見ると、「75歳以上」では「④85歳を超えても運転を続けたい」と答えている割合が多くなっている。

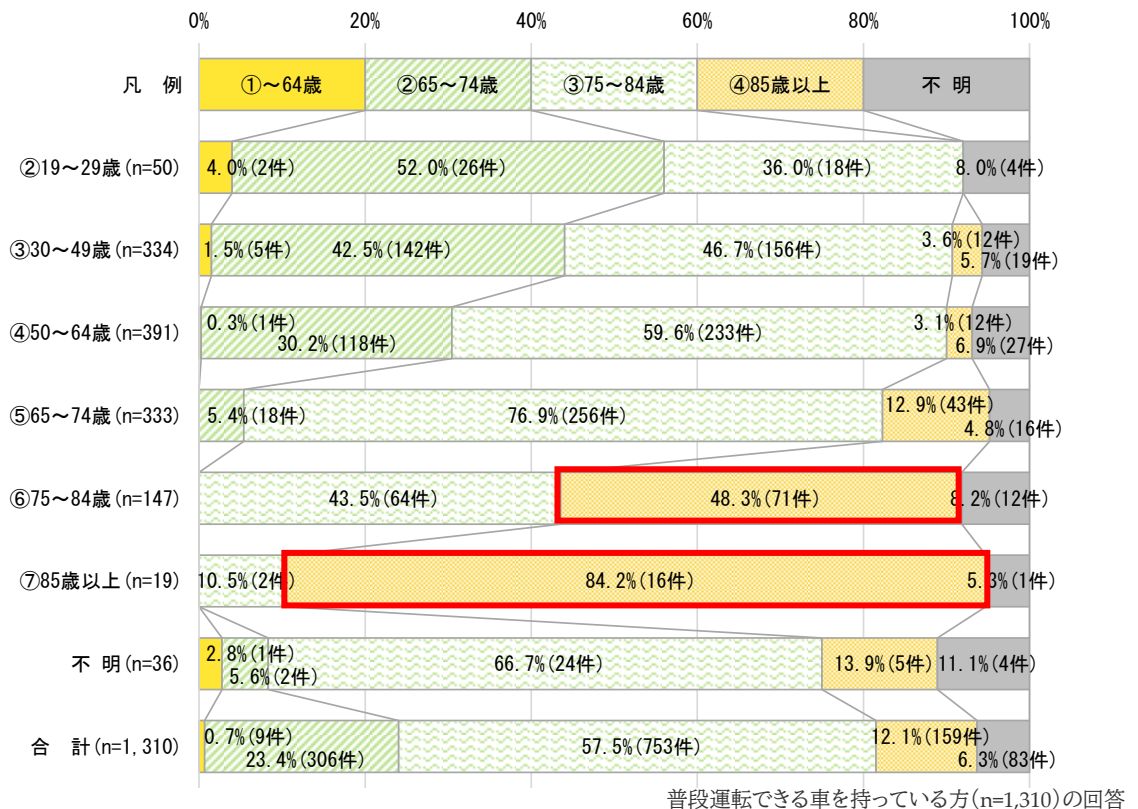


図 1-20 Q8-2-1.何歳まで運転したいか(Q4.年齢構成別)

Q8-2-2. 運転が困難になった場合の移動手段

運転が困難になった場合には「①バス等を利用する」が52.7%と最も多く、続いて「②家族等の送迎」が15.9%、「③徒歩・自転車」が9.9%となっている。

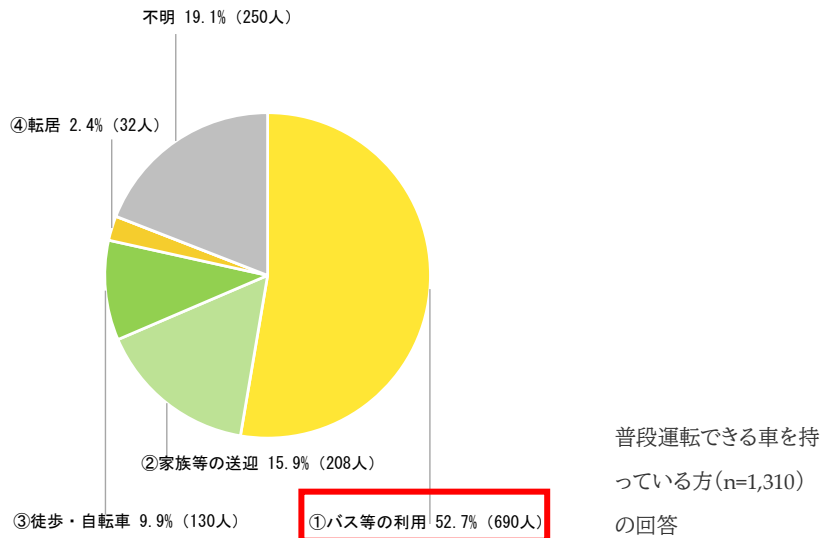


図 1-21 Q8-2-2.運転が困難になった場合の移動手段 (Q7 で普段運転できる車を持っている方のみ回答)

【居住地域別】

居住地域別に見ると、小平町の鬼鹿地区、天塩町では「①バス等を利用する」と回答した割合が半数以上となっているが、遠別町では35.0%と比較的低い。

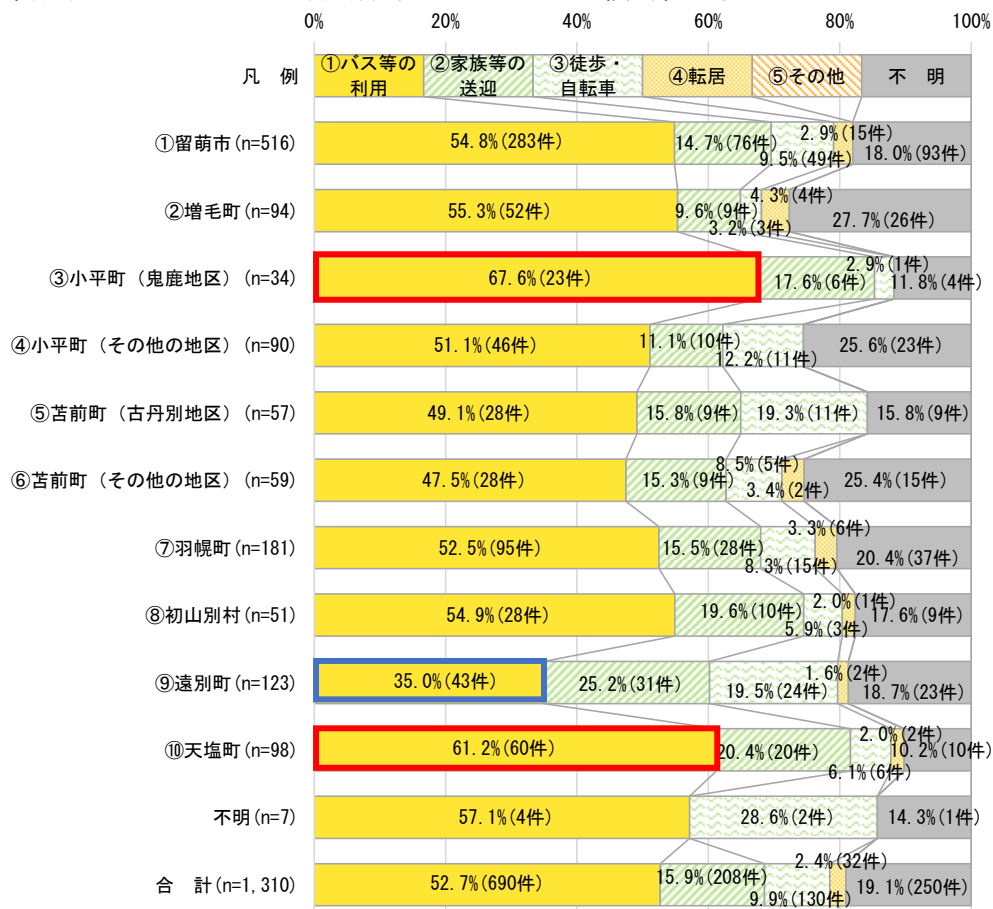
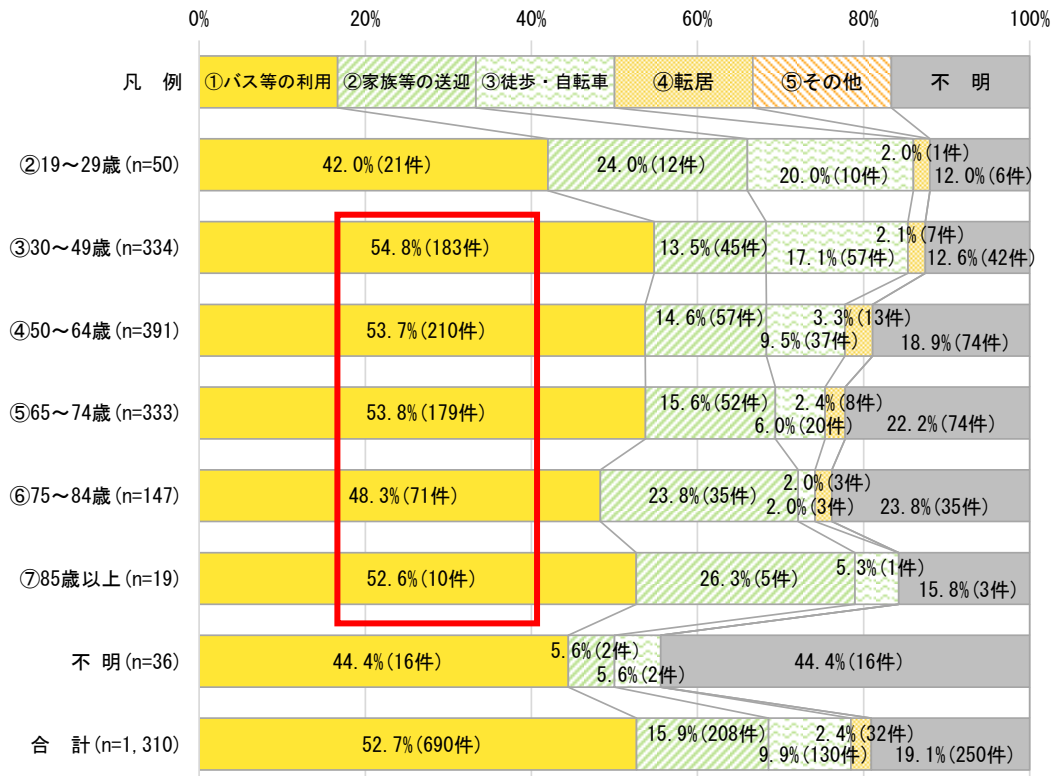


図 1-22 Q8-2-2.運転が困難になった場合の移動手段(Q1.居住地域別)

【年齢構成別】(Q8-2-2. 運転が困難になった場合の移動手段)

年齢別に見ると「①バス等を利用する」と回答した割合がほぼ全世代で半数程度となっている。



普段運転できる車を持っている方 (n=1,310) の回答

図 1-23 Q8-2-2.運転が困難になった場合の移動手段(Q4.年齢構成別)

Q8-3. 運転への不安

運転への不安は、「②冬や長距離運転に不安を持つときがある」が 49.5%と最も多く、「①いつも不安」を合わせると 55.0%と、条件つきながらも半数以上が不安を持っている。

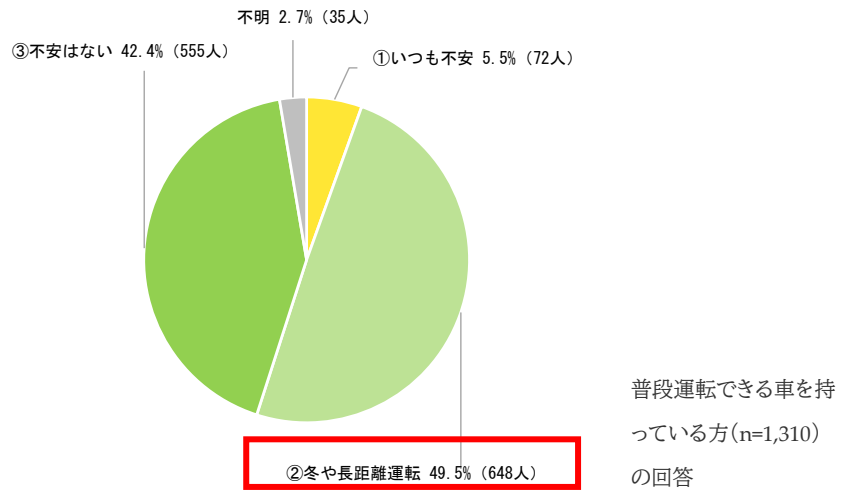


図 1-24 Q8-3.運転に不安を持つときがあるか (Q7 で普段運転できる車を持っている方のみ回答)

【年齢構成別】

年齢構成別に見ても、全世代で同様に「②冬や長距離運転に不安を持つときがある」が最も多い。

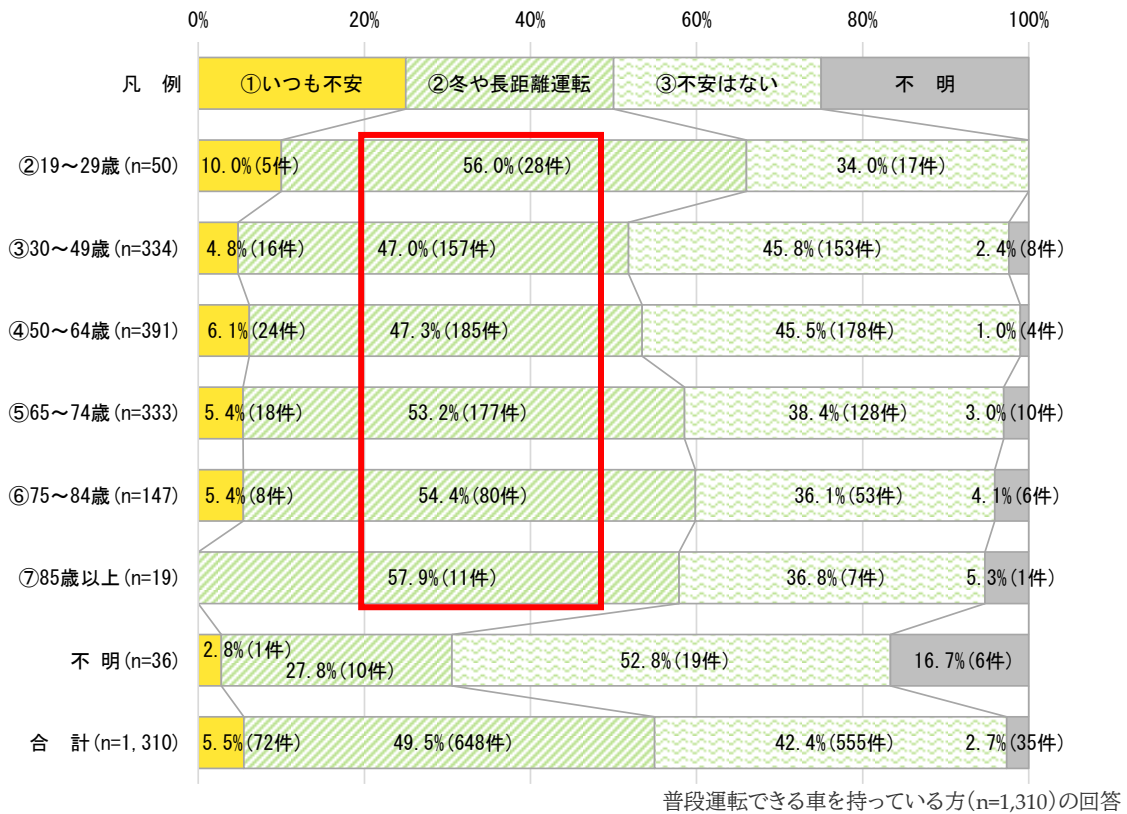


図 1-25 Q8-3.運転に不安を持つときがあるか (Q4.年齢構成別)

Q8-4. 不安の内容(Q8-3で「冬や長距離の運転が不安」を回答した方)

運転時の不安を感じる内容としては、「①冬と長距離の両方の運転が不安」と「②冬の運転が不安」と回答した割合がそれぞれ46%程度となっている。

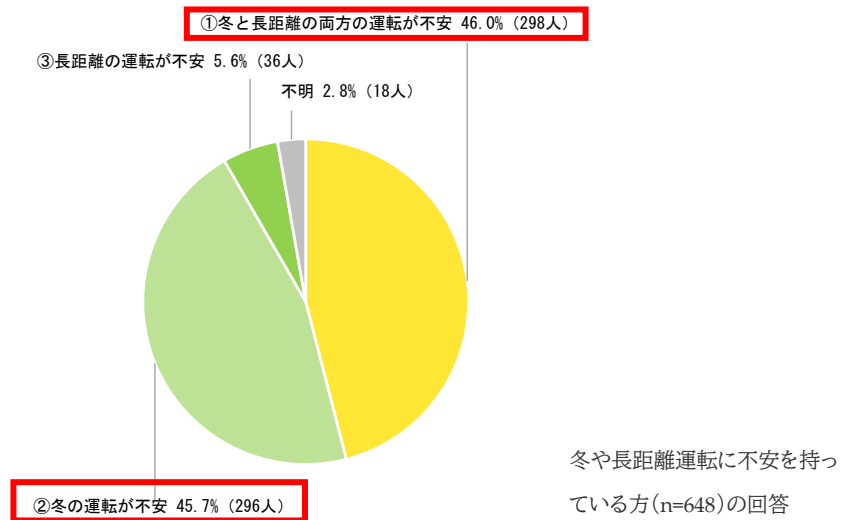


図 1-26 Q8-4.運転について、不安な内容 (Q8-3 で冬や長距離の運転が不安と回答したのみ回答)

【年齢構成別】

年齢別に見ると、「30 歳以上」において年齢を増すごとに「①両方が不安だ」と答えている割合がやや増加する。

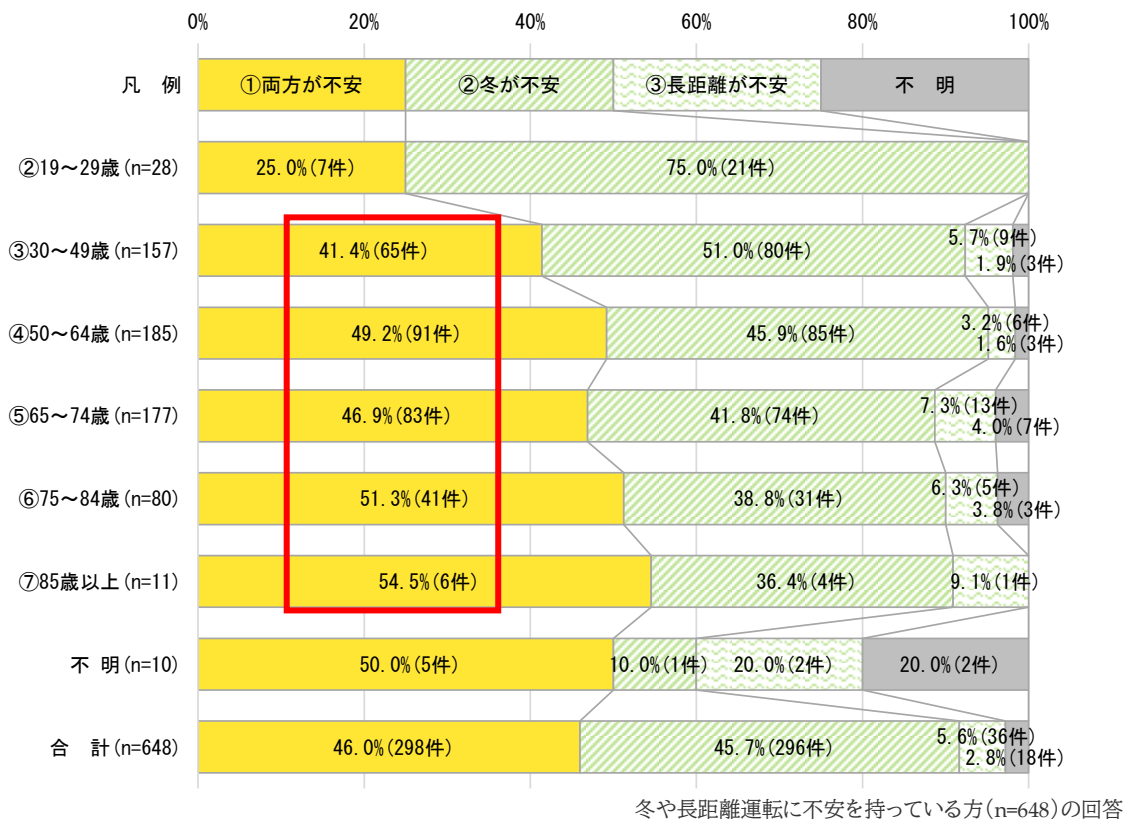


図 1-27 Q8-4.運転について、不安な内容(Q4.年齢構成別)

Q8-5. 事故を回避できる自信

事故を回避できる自信について、「②自信がない」は 50.3%と最も多く、一方で「①自信がある」は 41.4%となっている。

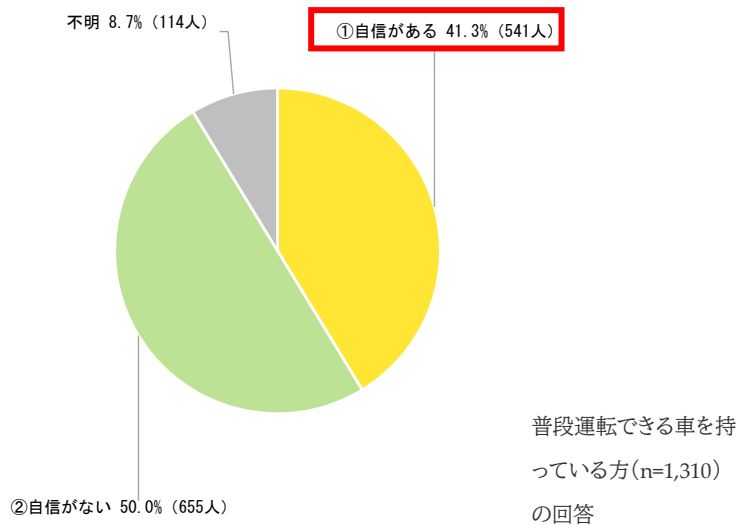


図 1-28 Q8-5.事故を回避できる自信があるか (Q7 で普段運転できる車を持っている方のみ回答)

【年齢構成別】

年齢構成別に見ると、ほぼ全世代で「②自信がない」が「①自信がある」をやや上回っている。

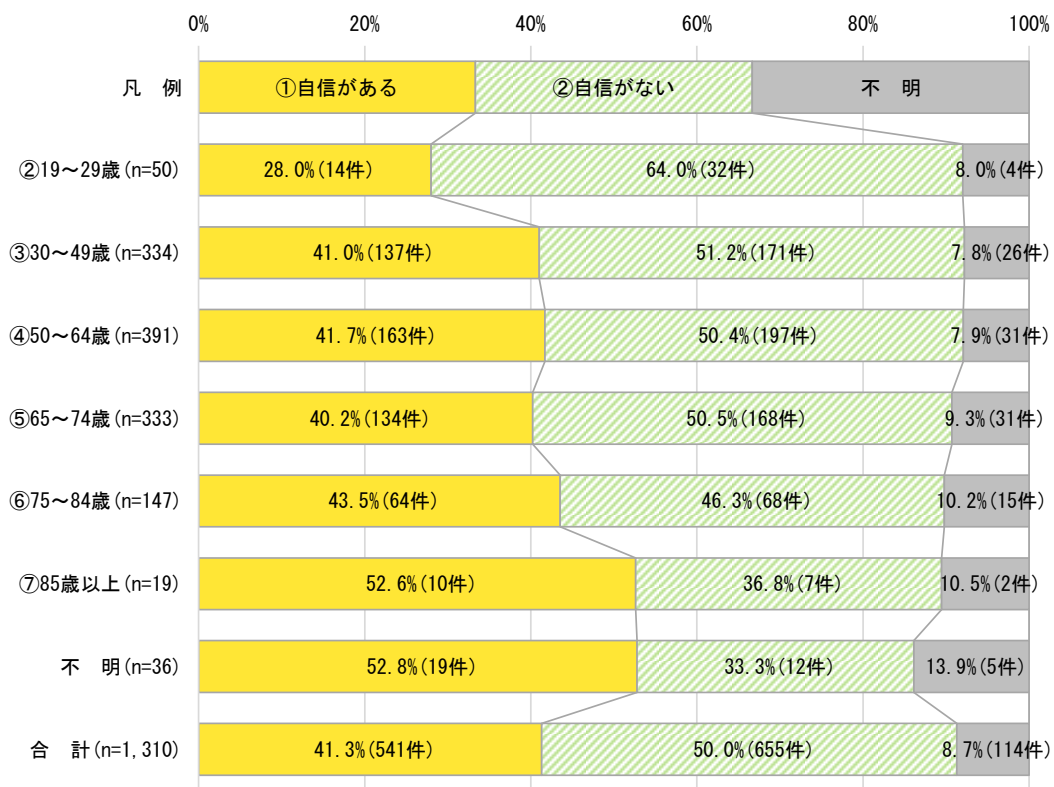


図 1-29 Q8-5.事故を回避できる自信があるか(Q4.年齢構成別)

Q8-6. 免許証返納の特典等の効果(65歳以上の方)

免許返納の特典があれば「①返納しやすい」と答えた割合が 28.5%となっており、「②少し返納しやすい」と合わせると半数以上となっている。

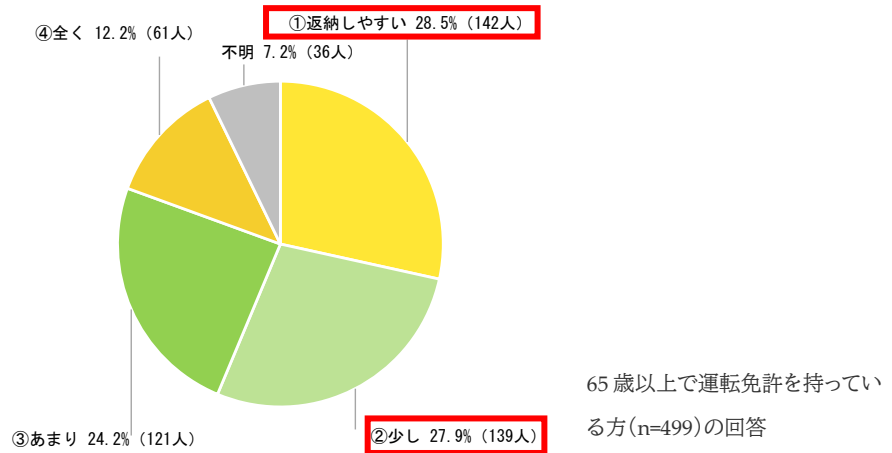


図 1-30 Q8-6.免許返納の特典等があれば、返納しやすくなるか (Q7 で普段運転できる車を持っていると回答しており、65歳以上の方のみ回答)

【年齢構成別】(65歳以上の方)

年齢構成別に「①返納しやすい」と「②少し返納しやすい」の合計を見ると、年齢が進むに従って免許返納の特典等の効果がやや減少する。

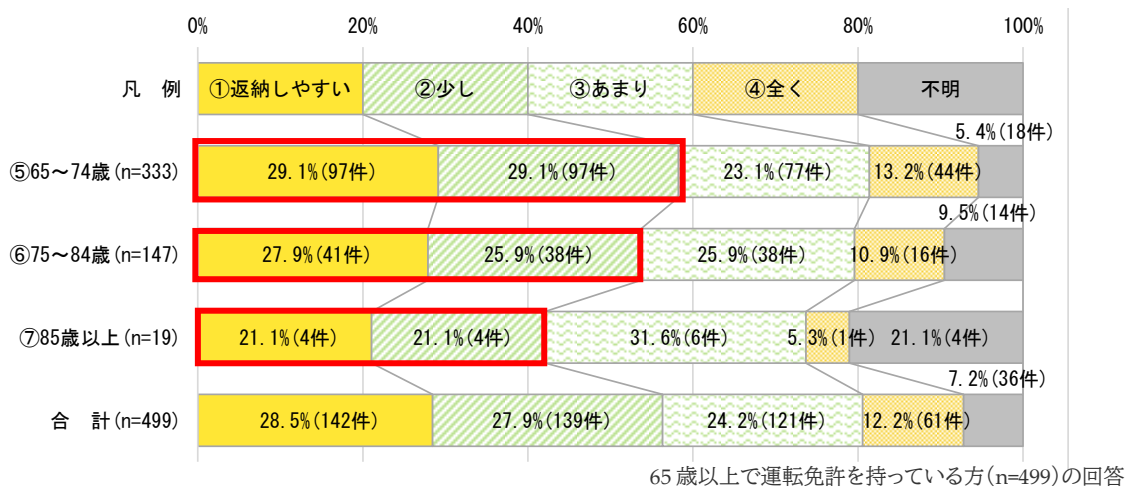


図 1-31 Q8-6.免許返納の特典等があれば、返納しやすくなるか (Q4.年齢構成別:65歳以上の方)

Q9. 自分以外が運転する自家用車での移動状況

(Q6で「自動車運転免許証を持っていない」を回答した方、またQ7で「普段、運転できる車を持っていない」を回答した方)

自分以外が運転する自家用車では「③車で移動する方法はない」と答えている割合が14.6%となっている。

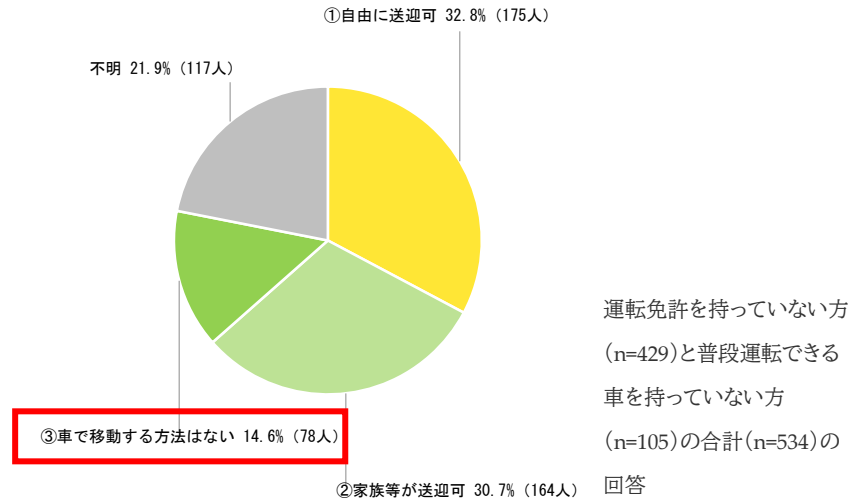
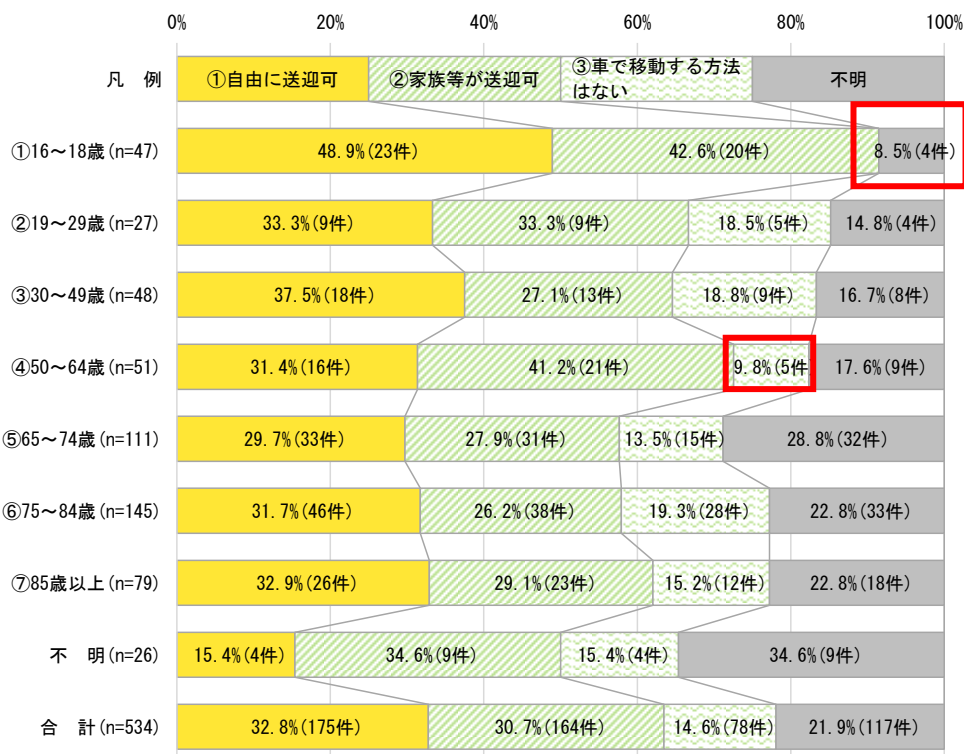


図 1-32 Q9.自分以外が運転する自家用車での移動状況

【年齢構成別】

年齢構成別に見ると、「③車で移動する方法はない」は「①16～18歳」の回答が無く、「④50～64歳」では9.6%と他の年齢構成よりも低い。



運転免許を持っていない方 (n=429) と普段運転できる車を持っていない方 (n=105) の合計 (n=534) の回答

図 1-33 Q9.自分以外が運転する自家用車での移動状況(Q4.年齢構成別)

Q10. 固定電話、携帯電話、スマートフォンの所持状況

電話の所持状況についてはスマートフォンを保有している(複数回答のうち、1つでも「③スマートフォン(スマホ)を保有」と回答した方、下記円グラフのうち C 区分)と答えている割合が最も多く、52.8%となっている。

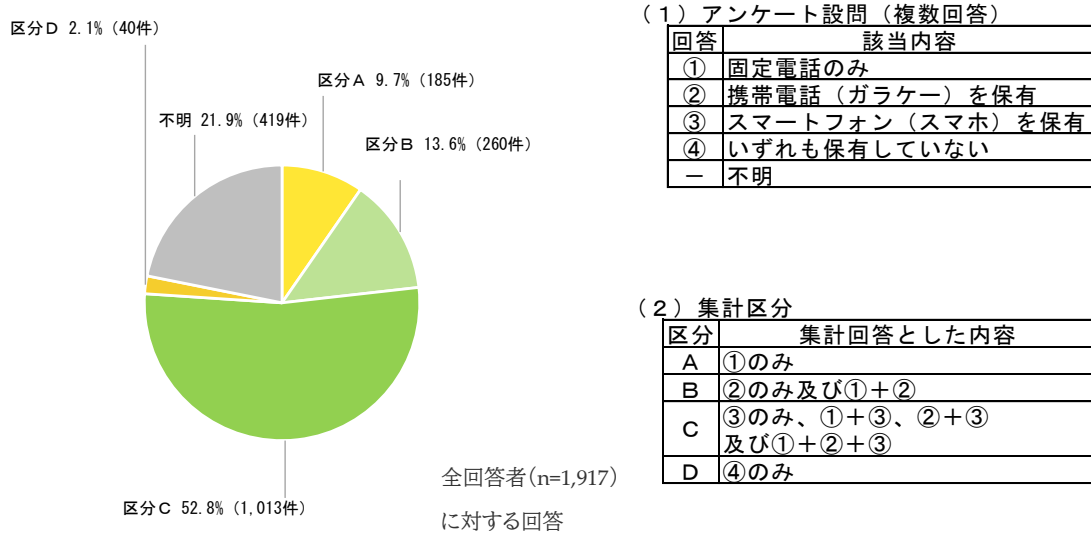
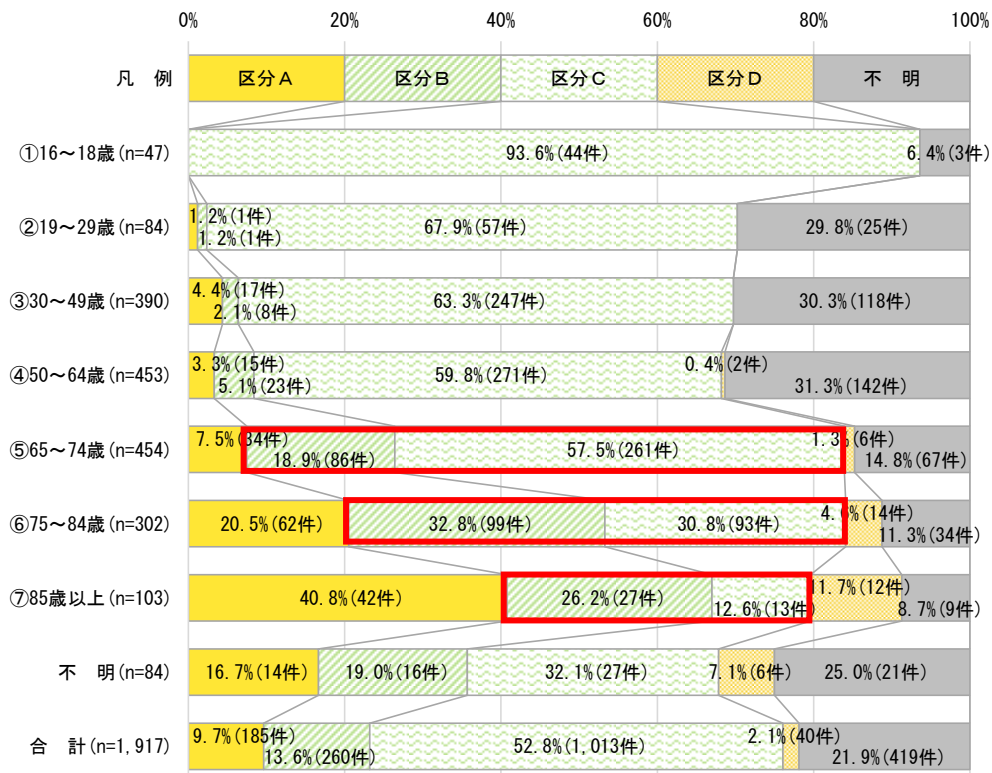


図 1-34 Q10.固定電話、携帯電話、スマートフォンの所持状況

【年齢構成別】

年齢構成別に見ると、年齢が増すごとにスマートフォンの所持率が下がっているが、携帯電話の所持率は上がっている。



③：携帯電話の所持を含む

全回答者(n=1,917)に対する回答

図 1-35 Q10.固定電話、携帯電話、スマートフォンの所持状況(Q4.年齢構成別)